

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,018	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 量 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,018

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス 総排出量	2,357	t-CO ₂	2,286	t-CO ₂	1,979	t-CO ₂	2,066	t-CO ₂	2,018	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	16.0	%	12.3	%	14.4	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排出量	0.1062	t-CO ₂	0.103	t-CO ₂	0.08913	t-CO ₂	0.1014	t-CO ₂	0.09897	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	16.1	%	4.5	%	6.8	%
原単位あたりの みなし排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

吸収式冷温水発生器の熱源関係の運用を細部にわたり調整し、電気使用量を前年比4%の削減、に成功しました。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー、省資源行動の実践（電気）	・南館・西館の照明器具を順次LEDに更新する	・予算計画に入れる	南館3, 2階をLEDに更新した。
省エネルギー、省資源行動の実践（冷暖房）	・熱源機器・熱搬送機器について、外気温などを考慮し、細やかな発停をすることでエネルギーが減らせるような運用を行う	・日々の環境変化に対応できるようにこまめに状況を確認する	熱源機器と熱搬送機器の運転を負荷に応じて発停する制御を設定し、運転時間の軽減を図った。
省エネルギー、省資源行動の実践（設備・建築）	・自動制御機器の計画的な更新 ・吸引装置更新工事	・予算計画に入れる	自動制御機器、コンプレッサのインバーター制御吸引装置の計画的な更新を実施。
省エネルギー、省資源行動の実践（OA機器）	・事務機器等、消費効率の高い機器選択に努める ・退社時には、OA機器のスイッチを切にする	・機種選定部署に周知する ・学内広報を利用し周知する	学内広報にて連絡をしているので、少しずつ進んでいる。省エネの啓蒙を促す。警備巡回に退出していれば室内灯のスイッチを切る。電灯のタイマー制御。
廃棄物の排出抑制	・両面コピーと裏面利用 ・ペーパーレス化を進める ・リサイクル製品等の分別を図りリサイクル化を進める		診療用カルテ等のペーパーレス化に取り組んでいる。電子カルテ化の推進。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・2021年5月省エネ、節電、冷房時の室内温度の適正温度のお願いを総務部長より掲示。
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<p>省エネルギー、省資源、温暖化防止を意識してもらうため、キャンパス内にポスターの掲示および学内連絡協議会報に載せて教員、職員、学生等にお知らせす。</p>
